

マーケットの動き（2024年6月10日～6月14日）

先週の国内リート市場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。

週末の日銀金融政策決定会合を控え様子見姿勢が強まる中、国内リートは持ち高調整で売られるなど軟調に推移しました。14日の会合で国債買入の減額方針について具体的な決定は来月に先送りされたことを受け、国内金利が低下したことを好感し前週末と同水準まで下落幅を縮めました。

セクター別では、商業・物流等セクターが上昇した一方、オフィスセクターや住宅セクターが下落しました。

投資環境見通し（2024年6月）

国内リート市場は、上値の重い展開を予想

賃料収入の回復が期待される一方、想定を上回るペースで日本の長期金利が上昇していることから、需給環境の改善には時間を要するとみており、国内リート市場は上値の重い展開を予想します。借入コスト上昇など事業環境が厳しくなるなか、投資主価値向上に資する取り組みの強化を期待しています。

	6月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,722.92	▲0.06%	▲5.26%	▲4.80%	▲7.08%
＜ご参考＞ TOPIX（東証株価指数）	2,746.61	▲0.31%	0.57%	18.32%	19.70%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

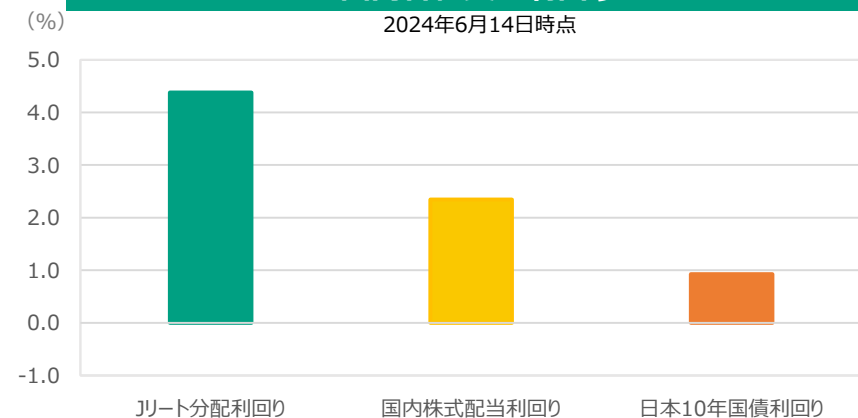
東証REIT指数、TOPIXの推移

（期間：2023年5月31日～2024年6月14日）



国内各種資産利回り

2024年6月14日時点



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>